

漢字熟語

情緒	思索	模倣	独创	創造
「情緒不安定」「江戸情緒あふれる街」など。「じょうしよ」とも読む。【類】情趣 しみじみとした味わい。	【類】「思考」「思惟」 考えること。 ①折にふれて起るさまさまの感情。また、そのような感情を誘い起こす気分。雰囲気 ②急激で一時的な感情	「模倣」は「模写」「模擬試験」などのように「まねて作る」意。「倣」は「ならう」と読む。【類】「創造」「独创」「模倣」まねること	「独创的」「独创性」といった形でよく使われる。「独创的な考え」「独创性のある作品」など。【類】「創造」「創作」「模倣」	「創造」には「はじめ」「はじめてつくる」などの意味がある。「創造」「独创」「創意」 新しく考え出すこと 「草創」 ことの初め 「創業」 事業をはじめめる など。新しい物を初めてつくりだすこと

無常	陶醉	叙情	叙事
「無常観」「諸行無常」など「徒然草」や「方丈記」「平家物語」などを学ぶときに出てくる言葉。	①気持ちよく酔つこと ②うつとりするほどにその境地に浸ること 「陶」には「心がうちとける」意がある。 【類】「恍惚」 心を奪われてうつとりするさま。	「叙情詩」は作者自身の感動や情緒を表現する作品。【類】「叙事」	「叙事詩」は神話・伝説・英雄の功績などを語る長大な詩のこと。【類】「叙情」

重要表現

手にかかる	鼻が高い	目をつぶる	もぬけの殻
①直接に取り扱われる ②殺される 「あの難題も彼の手にかかれればすぐに解決する」など。「手がかかる」は「世話がやける」の意。	得意になっていること。傲慢なこと 「鼻」は「鼻を折る」「鼻に掛ける」など、誇りや傲慢な様子を表す。「優秀な生徒を持って鼻が高い」など。 見て見ぬふりをする。がまんする	「目をつむる」ともいう。「多少の失敗には目をつぶる」など。【類】「目をふさぐ」	人が抜け出た後の寢床や住居などのたとえ 「訪ねたときにはもぬけの殻だった」など。

後ろ髪を引かれる	後ろ指をさされる	大手を振る	いぶき
後に心が残って、先へ進むことができない状態 「後ろ髪を引かれる思いで別れた」など。 【類】未練が残る あきらめきれないこと	かげで他人から非難される 後ろから指でさすところから。「犯罪を犯すと周りから後ろ指をさされる」など。	他人に遠慮せずに堂々と行動する 「大手」は、肩から手先(指先)までのこと。「テストで満点をとったので大手を振って帰った」など。	「息吹」と書く。「春のいぶきに触れる」など。

練習問題

A 次の意味を表す語を後から選びなさい。

- 1 人が抜け出た後の寢床や住居などのたとえ
- 2 得意になっていること
- 3 直接に取り扱われる
- 4 かげで他人から非難される
- 5 他人に遠慮せずに堂々と行動する
- 6 生気や活気のある気配
- 7 見て見ぬふりをする
- 8 後に心が残って、先へ進むことができない状態

① 目をつぶる	② 手にかかる	③ もぬけの殻
④ 大手を振る	⑤ 後ろ髪を引かれる	⑥ 鼻が高い
⑦ 後ろ指をさされる	⑧ いぶき	

B 1・2は対義語を、3～5は類義語を漢字で答えなさい。

- 1 創造
- 2 叙情
- 3 恍惚
- 4 情趣
- 5 思惟

3	1
4	2

C 次の傍線部の語の意味を選びなさい。

- 1 家族と離れ一人上京する朝、私は後ろ髪を引かれる思いで新幹線に乗った。
① 後悔する ② 未練が残る ③ 非難される
④ 残念に思う ⑤ つらい思い
- 2 明日から大手を振って外を歩くことができる。
① 堂々と遠慮せずに ② 他人を邪魔して
③ 明るく振る舞って ④ 嫌な顔をせずに
⑤ 毎日欠かさず
- 3 ちよつとした欠点には目をつぶることが、友情を長続きさせる秘訣だ。
① 嫌だから見ないようにする ② 怖くて思わず目を覆う
③ 仕方なくあきらめる ④ じつと静かに考える
⑤ 見て見ぬふりをする

D 次の空欄に当てはまる漢字一字を答えなさい。

- 1 平家物語の冒頭にも出てくる「諸行無□」という言葉は、すべてのものは移り変わり、永久に変わらないものはないという考え方である。
- 2 独□的なデザインで賞をとった新進気鋭のデザイナーは、あらゆる分野での今後の活躍が期待されている。

1	2
---	---

漢字熟語

理 観 概
念 念 念

「念」の付く語には「概念」「観念」「理念」などがあるが、「概」は「おおむね、大体」、「観」は「見方、考え方」、「理」は「理想」、そして「念」には「おもい」という意味があるので、組み合わせで語の意味を考えるとよい。
ある物事に対する大まかな意味内容。イメージ
物事から共通の要素を抜き出してまとめた一般的な考え方。
「概念的」は、個々ではなく概念によって大雑把に捉えた様子。
人間が頭の中で思い描く主観的な考えやイメージ
「観念」は主観的な内容、「概念」は一般的な内容。「観念的」は「現実を見ていない」と否定的に用いられる。
こつあるべきだという根本の考え
「理念」は「理想」と置き換えると文の意味をとらえやすい。

無尽蔵

いくらとつてもなくならないこと
「資源が無尽蔵にある」と思いがちだ。など。
【類】「無限」⇨数量や程度に限りがないこと。

輪廻

生物が死んで別なものに生まれ変わる過程を永久に繰り返すこと
仏教用語。「廻」は「回」と同じく、巡ってもどつてくるという意味。【類】「転生」「流転」

塩梅

①料理の味加減 ②物事の具合。調子。加減
③体の具合 ④ほどよく物事を処理すること
味の基本である塩と梅酢の意の「えんばい」と、物を具合よく並べる意の「按配(排)」とが混同した語。

脱兎のごとく

逃げ足が非常に速いこと
「脱兎」は逃げるウサギのこと。「ごとく」は「〜のように」の意。「脱兎のごとく電車から出て行った」など。

ともすれば

どうかすれば。場合によっては
放つておくと何か予想した事態になりそうなときに用いる。「ともすれば勝つためには何をしてもよい」と考えがちになる」など。【類】「ともすると」「ややもすれば」「ややもすると」

あぐねる

現代では「思いあぐねる」「さがしあぐねる」など動詞の下に付けて用いられる。【類】「あぐむ」

まぎまぎと

①まるで目の前にあるかのようにはつきりとしているさま。ありありと ②身にしみて感じるさま。はつきり。うつくしくと ①「あのとき」がまぎまぎとまぶたに浮かぶ、②「自分の力不足をまぎまぎ」と思い知らされる」など。

いささか

①ほんの少し。わずか ②(下に打ち消しの語を伴い)「少しも〜ない」
①「新入部員の言動にはいささか参った」、②「いささかも気にしていない」など。

重要表現

肝が据わる	落ち着いていてめったなことには驚かない 「肝が据わった人物」など。【類】「腹が据わる」
小耳にはさむ	「ちよつといい話を小耳にはさんだ」など。「小」は「たいした程度ではない」の意。「小ぎれい」「小雨」など。 非常に細かいことまで問題にして、「口うるさく言いつく
重箱の隅をつつく	「重箱の隅を楊枝で穿る」ともいう。 活動の幅を広げる
すそ野を広げ	「裾野」と書き、「山のふもとの方にゆるやかに広がる野原」の意。「町の大会はその競技のすそ野を広げる意味がある」など。 相性が合わない
そりが合わない	「反り」と書き、「刀身の曲がり具合のこと。そりと鞘の曲がり具合が合わないことから。「あの二人はそりが合わない」など。 才能・技量などが、周囲の人よりも一段と優れる
頭角を現す	「頭角」は「頭の先」の意。「めきめき頭角を現してきた」など。 続けていた仕事・作業などを、いったん終わりにする
切り上げる	「仕事を切り上げる」など。

練習問題

A 次の意味を表す語を後から選びなさい。

- 1 物事の具合や調子、加減
 - 2 生物が死んで別なものに生まれ変わる過程を永久に繰り返すこと
 - 3 いくらとつてもなくならないこと
- ① 無尽蔵 ② 輪廻 ③ 塩梅
- 1 2 3

B 次の空欄に当てはまる漢字一字を書きなさい。

- 1 「自立した人間の育成」という学校創立当時の□念。
 - 2 三角形の□念。
 - 3 □念的で現実味がない計画。
- 1 2 3

C 次の空欄に当てはまる語を後から選びなさい。

- 1 日本人どうしの会話をパリなどで□と、フランス人の悪口ばかり聞こえてくる。
- 2 メール普及により、文字で意志を伝える習慣は幅広い世代にその□ことになる。
- 3 怖い訪問販売にも顔色一つ変えず断ることができるなんて□。
- 4 明治維新から三十年後、日本はようやく新興国家として国際社会で□。

5 チャイムが鳴つたと同時に、□教室を飛び出した。

6 仕事を早めに□。

- ① 肝が据わっている ② 頭角を現した ③ 脱兎のごとく
④ すそ野を広げる ⑤ 小耳にはさむ ⑥ 切り上げる
- 1 2 3 4 5 6

D 次の傍線部の語の意味を選びなさい。

- 1 職場にいてもどうしてもそりが合わない人はいるものだ。
① 相性が合わない ② 話が合わない ③ 意見が合わない
④ 時間が合わない ⑤ つじつまが合わない
- 2 重箱の隅をつつくような研究は、将来の科学の発展に貢献しない。
① 非常に細かいところまで行き届いていること
② 非常に細かいことまで問題にしてうるさいこと
③ ささいなことは大目に見ること
④ 大切なことを最後まで見過ごすこと
⑤ あまりに細かすぎてだれもわからないこと
- 3 ともしれば親のありがたさを忘れがちになる。
① ややもすると ② そうすると ③ 友と一緒に
④ 時がたつと ⑤ 日常では
- 4 現代の若者の中には夢を探しあぐねる者も決して少なくない。
① 思うようにできず困る ② 簡単にあきらめようとする
③ 優柔不断になってしまふ ④ いい気になってはびこる
⑤ 分不相応なことを考える
- 5 あのときのことをまぎまぎと思ひ出した。
① ぼんやりと ② はつきりと ③ 悠々と
④ すんなりと ⑤ 堂々と
- 6 我々の文明に、現在、我々自身がいささか自信を失いつつある…
(別役実「なまけものコンプレックス」)

- ① ほとんど ② 予想以上に ③ 少し
④ かなり ⑤ なかなか
- 1 2 3 4 5 6